

1 課題を抱える業務の内容

大口径配水管については、電子式漏水発見器や音調棒による漏水調査が困難であり、その他技術についても、断水を行う必要があるといった課題があることから、計画的な漏水調査の手法が確立されていません。

2 課題の詳細

漏水調査の手法として、二点相関式漏水発見装置（制水弁等の2点間にセンサーを設置し、漏水位置を探知する機器）や透過式漏水発見器（ヘリウムガスを水道管路内に注入し、漏水箇所からの地中に透過するガスを地上の検知器で検知することで、漏水位置を特定する機器）といった技術はありますが、二点相関式漏水発見装置については、大口径の漏水位置の特定が困難であったり、透過式漏水発見器については、断水を伴う作業が必要といった課題があります。

3 こんな技術を求めています！

大口径配水管の漏水を断水することなく、漏水箇所を正確に特定できる技術

4 技術の導入により代替が期待される業務

二点相関式漏水発見装置、透過式漏水発見器を用いた漏水調査作業